

■9月29・30日、花渡川の河口に18基の筏（いかだ）が並ぶ。モールス信号と共に、乗り込んだ鹿児島水産高校の生徒たちが、笛の音を合図に手旗信号で『SAVE WATER』を発信する・・・。これは、今、最も重要な環境課題の一つである『水』について問い合わせることをテーマに、アーティストの池田一さんを中心に行われたアートパフォーマンスです。

「広報まくらざき8月号」でも述べましたが、昨年行われた花渡川アートプロジェクトの様子は、地球環境問題をテーマとする展覧会『地球環境デイ展』に選抜され、ノルウェーのオスロを経て、現在、ベルギーの首都ブリュッセルで展示されています。

「今年は、枕崎発のメッセージを、もっと増幅させよう」と、池田さんの指導のもと、鹿児島水産高校の生徒や趣旨に賛同した人たちが、筏作りから参加。大勢の人たちが一つとなって、世界へ向けた大規模なアートパフォーマンスをやり遂げました。

一人ひとりの小さな声が、アートという拡大レンズを通して、世界に呼び掛ける「大きな声」に
■アーティスト：池田一さん

松之尾橋の欄干にもたれて、花渡川の河口に目をやる。立神岩の不思議な佇まいに魅せられて、目を細めると、東シナ海の懷に誘い込まれる気がする。ここ枕崎は、東シナ海を経て、黒潮文化圏にのり、世界にメッセージを発信する格好の起點となるにちがいない。花渡川アートプロジェクト『100軒の水筏が南方に向かう日』は、この場所への強い想いから、スタートしました。

『100軒の水筏』には、『SAVE WATER』の文字が並ぶ。モールス信号が、河口に響く。筏の上に凜々しく立った鹿児島水産高校の生徒たちは、手旗を振って、SAVE WATERを発信する。それぞれの創意と情熱を込めて、枕崎から「水を救え！」のメッセージが発信された。素晴らしいパワフルな瞬間でした。

『100軒の水筏』は、今回のアートプロジェクトで立上がった、人と人のつながりの長さです。「水を救え！」のメッセージを自分の足下に帰して、もっともっと長い人のつながりが出来ることを期待しています。



『SAVE WATER』 水を救え！のメッセージ を花渡川から世界に発信

花渡川アートプロジェクト2007



© 2007 Ichi IKEDA/Photo TDW.

講師会場	期日	南薩地区秀作展
参加料	会場	M·O·A美術館
無料	観覧料	主催
好明氏	無料	第62回南日本美術展から
(南湊館長)		開催します。
午前10時30分	月曜日休館	市立美術館で開催している第62回南日本美術展の作品の中から、
12月2日(日)	南湊館	南薩地区的作家の作品を展示する「南薩
30分	第1展示場	地区秀作展」を開催します。
11時30分		是非お気軽にご参加ください。



めでたいな！：保育園児が元気でかわいい踊りを披露してくれました。



応援に盛り上がるテント席。特に公民館対抗リレーでは大きな声援が飛びました。



マーチングドリル：毎年、かわいいマーチングを見せてくれます。



10人縄跳び：体育指導員がお手本を見せましたが、なかなか難しい。



鹿児島水産高校青雲の翼：若者たちの力強い組体操に大きな拍手。



老人クラブによる輪入れ：お年寄りの方々、皆さんお上手でした。



中学生リレー：男子（写真）は、枕崎が桜山に僅差で勝利。女子では桜山が雪辱を晴らす。



スプーンリレー：一着でゴール！歓喜のポーズが決まりました。



走って！応援して！さわやかな汗
第39回市民運動会



選手宣誓：下迫正悟さん

さわやかな秋晴れの中、第39回市民運動会が10月21日、市総合グラウンドで開催されました。参加した各公民館やスポーツ少年団、老人クラブなどの方々が、楽しく、一生懸命競技し、汗を流していました。

競技は、徒競走やむかで競走、ゲートボールや10人縄跳びなど、お年寄りから子どもたちまで楽しめる趣向を凝らした種目が盛りだくさん。恒例の公民館対抗リレーでは、選手たちが地元の期待を受けて熱戦を展開。各公民館のテントから選手たちに大きな声援が送られていきました。



【公民館対抗綱引き競争】
今年も中原公民館が優勝し、2連覇を達成！
優勝商品の焼酎で、反省会も盛り上がったことでしょう。